



今年も「りんどう」の出荷が始まりました



ＪＡ鳥取いなば智頭りんどう生産部会が中心となって栽培を進める、本町特産の『りんどう』の出荷に向けた選花場開きが行われました。選花作業の前には「目合わせ」会が開催され、生産者、選花作業員、ＪＡ担当職員、八頭農業改良普及所職員が、生育・管理状況の共有や、品質・選花基準などの確認を行いました。

今年は春先から好天が続いて順調に生育が進んだことで、例年より10日ほど早い開花となり、生産者からは「今年も、色合い・咲き具合が均一で出来の良い、きれいなりんどうが育った」との声が聞かれました。

りんどうの選花作業は、7月下旬から8月上旬にピークとなり、関西圏を中心に約5万本が出荷される予定です。